



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 ASTI株式会社

コード番号 6899 URL <http://www.asti.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野塚 賢平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 野末 武志

TEL 053-444-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	23,267	18.4	386	—	39	—	25	—
22年3月期第3四半期	19,658	△24.7	△323	—	△220	—	△350	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	1.51	—
22年3月期第3四半期	△20.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	20,487	11,416	55.7	672.34
22年3月期	20,071	11,700	58.3	688.57

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 11,414百万円 22年3月期 11,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
23年3月期	—	5.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,900	13.2	620	—	320	226.8	300	—	17.67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 17,085,034株 22年3月期 17,085,034株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 107,692株 22年3月期 104,326株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 16,978,752株 22年3月期3Q 16,982,839株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年10月29日発表の連結業績予想を修正しておりませぬ。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性がありませぬ。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、中国・インドを中心とする新興国の経済成長や各国政府の景気刺激策もあり緩やかな回復を見せてまいりましたが、急激な円高の進行や政策効果の剥落などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における業績は、車載電装品の販売が増加したことにより売上高は23,267百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は386百万円（前年同期は営業損失323百万円）となりましたが、円高による為替換算損失により経常利益は39百万円（前年同期は経常損失220百万円）、四半期純利益は25百万円（前年同期は四半期純損失350百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より416百万円増加し20,487百万円となりました。受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末と比較して268百万円増）、たな卸資産の増加（同480百万円増）、有形固定資産の減少（同344百万円減）等が主な要因であります。負債につきましては、前連結会計年度末より700百万円増加し9,071百万円となりました。短期借入金の増加（同982百万円増）等が主な要因であります。純資産につきましては、前連結会計年度末より284百万円減少し11,416百万円となりました。利益剰余金の減少（同144百万円減）等が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は55.7%となり、前連結会計年度末と比較して2.6ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、今後の見通しに不確定要素が多いことから、平成22年10月29日に発表した業績予想を修正せず据え置いております。

なお、今後需要動向や経済環境などさまざまな要因の変化による影響を見極め、見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法は、主として定率法を採用し、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結累計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結累計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価の切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却額を見積り、簿価の切下げを行う方法によっております。

③ 税金費用の計算方法

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、税金等調整前四半期純利益が4,084千円減少しております。

(作業くず売却益の会計処理方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、従来、営業外収益の「その他」に計上しておりました作業くず売却益は、その発生が恒常的なものであることから、より発生態様に即した財務諸表表示とするため、「売上高」に計上しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間における営業利益が10,100千円増加しております。

(表示方法の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,251,819	1,199,747
受取手形及び売掛金	7,427,150	7,158,205
商品及び製品	725,578	542,275
仕掛品	357,595	312,347
原材料及び貯蔵品	2,521,385	2,269,845
その他	682,322	665,932
貸倒引当金	△650	△655
流動資産合計	12,965,199	12,147,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,551,148	5,636,605
減価償却累計額	△3,063,747	△2,912,656
建物及び構築物（純額）	2,487,401	2,723,949
機械装置及び運搬具	3,928,711	4,439,765
減価償却累計額	△2,718,306	△2,979,837
機械装置及び運搬具（純額）	1,210,405	1,459,928
土地	2,049,346	2,060,008
その他	3,306,863	3,040,200
減価償却累計額	△2,529,827	△2,414,909
その他（純額）	777,036	625,290
有形固定資産合計	6,524,190	6,869,176
無形固定資産		
その他	108,169	129,011
無形固定資産合計	108,169	129,011
投資その他の資産		
投資有価証券	316,783	352,788
前払年金費用	481,213	484,704
その他	116,910	112,808
貸倒引当金	△24,690	△24,550
投資その他の資産合計	890,216	925,751
固定資産合計	7,522,576	7,923,939
資産合計	20,487,775	20,071,636

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,709,244	2,978,782
短期借入金	4,161,206	3,179,000
未払法人税等	17,612	25,484
賞与引当金	194,847	269,033
製品保証引当金	58,918	54,271
その他	735,797	704,515
流動負債合計	7,877,627	7,211,088
固定負債		
長期借入金	930,728	923,867
退職給付引当金	15,809	17,868
資産除去債務	2,821	—
その他	244,532	218,295
固定負債合計	1,193,890	1,160,031
負債合計	9,071,518	8,371,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,476,232	2,476,232
資本剰余金	2,640,082	2,640,082
利益剰余金	6,590,580	6,734,789
自己株式	△49,947	△49,076
株主資本合計	11,656,946	11,802,028
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43,644	61,772
為替換算調整勘定	△285,978	△171,477
評価・換算差額等合計	△242,333	△109,704
少数株主持分	1,644	8,193
純資産合計	11,416,257	11,700,516
負債純資産合計	20,487,775	20,071,636

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	19,658,359	23,267,572
売上原価	18,240,506	20,903,237
売上総利益	1,417,853	2,364,334
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	8,600	14,550
給料及び賞与	635,867	721,797
賞与引当金繰入額	107,272	166,294
退職給付引当金繰入額	63,843	58,606
その他	925,875	1,016,414
販売費及び一般管理費合計	1,741,459	1,977,664
営業利益又は営業損失(△)	△323,606	386,670
営業外収益		
受取利息	4,816	6,785
受取配当金	4,724	4,029
負ののれん償却額	10,470	—
保険解約返戻金	56,092	6,294
助成金収入	38,733	—
その他	63,410	45,965
営業外収益合計	178,247	63,075
営業外費用		
支払利息	36,388	38,395
為替差損	—	357,102
その他	39,213	14,544
営業外費用合計	75,602	410,041
経常利益又は経常損失(△)	△220,961	39,703
特別利益		
固定資産売却益	509	2,738
補助金収入	7,475	—
特別利益合計	7,984	2,738
特別損失		
固定資産処分損	3,752	26,149
退職給付制度改定損	4,178	—
固定資産圧縮損	7,475	—
投資有価証券評価損	—	16,038
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,007
特別損失合計	15,405	46,196
税金等調整前四半期純損失(△)	△228,382	△3,753
法人税等	122,296	△22,068
少数株主損益調整前四半期純利益	—	18,314
少数株主損失(△)	△180	△7,295
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△350,498	25,610

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	車載・家電用機能部品事業 (千円)	通信・制御機器事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,564,692	3,093,667	19,658,359	—	19,658,359
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	31,012	532,255	563,268	(563,268)	—
計	16,595,705	3,625,922	20,221,628	(563,268)	19,658,359
営業利益又は営業損失(△)	△330,471	51,949	△278,521	(45,084)	△323,606

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,300,338	3,358,020	19,658,359	—	19,658,359
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	407,472	1,583,262	1,990,734	(1,990,734)	—
計	16,707,811	4,941,283	21,649,094	(1,990,734)	19,658,359
営業損失(△)	△226,642	△51,879	△278,521	(45,084)	△323,606

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	欧州	計
I 海外売上高(千円)	3,447,940	21,014	3,468,955
II 連結売上高(千円)	—	—	19,658,359
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.5	0.1	17.6

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の類似性、工程の類似性を基礎としてセグメントを構成しており、その内「車載電装品事業」、「ホームエレクトロニクス事業」及び「情報通信機器事業」の3つを報告セグメントとしております。「車載電装品事業」は、各種電子制御ユニット、エアコンパネル、車載・船舶用ワイヤーハーネス等を生産しております。「ホームエレクトロニクス事業」は、洗濯機・食器洗浄機・衣類乾燥機用電子制御基板等を生産しております。「情報通信機器事業」は、携帯電話機用回路基板、プリンター用電子制御基板等を生産しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	車載電装品	ホームエレクトロニクス	情報通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,139,323	5,322,293	2,358,520	21,820,137	1,447,435	23,267,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	250,976	174,406	35,805	461,188	4,398	465,586
計	14,390,299	5,496,700	2,394,325	22,281,325	1,451,833	23,733,159
セグメント利益	95,330	204,285	141,417	441,034	△3,643	437,390

	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3)
売上高		
外部顧客への売上高	—	23,267,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△465,586	—
計	△465,586	23,267,572
セグメント利益	△50,720	386,670

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FA機器、産業用ロボットコントローラ等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△50,720千円であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産の減価償却費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。